



121 press

いちにーいち・ふれす



せんがわ劇場応援マガジン 第6号 (平成26年6月24日発行/企画・編集:せんがわ劇場市民サポーター)

「見てよし、聞いてよしの楽しい舞台。『立体読み聞かせ劇場』開幕です。

せんがわシアター121 vol.3 リーディング公演 『庭にはニワトリニ羽にワニ』『キニサクハナノナ』

平成二六年六月一四日から「せんがわシアター121」第三弾公演が幕を開けました。小川未玲作、志賀廣太郎演出『庭にはニワトリニ羽にワニ』と『キニサクハナノナ』の二本立て。それぞれ短編で、上演時間は合わせて約一時間。「リーディング公演」と銘打った本作の見どころをご紹介します。

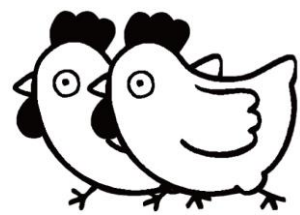
* * *

「何だろう、この題名？」と思った方も多いでしょう。演劇を志して滑舌練習に精を出した方は「存じかもしれません。『庭にはニワ鶏がいる。庭にはニ羽裏庭にはニ羽鶏がいる。この

早口言葉をもじった題名。作者の小川未玲さんは「いわゆるタイトル落ちです」と謙遜されますが、ノンセンス風味が効いたとても楽しい作品。それが演出家とプロの俳優、音楽家によってさらに面白い舞台へと仕上げられています。

お話は、ワニに食べられたニワトリ、その子供である兄妹のニワトリが親のかたきを討つべく、そのワニの子ワニに猛然と戦いを挑む。そこへワニの飼主・マダムが現れる。道ならぬ恋の告白があり・・・と、はちゃめちゃドタバタコメディが展開。

演出担当
の志賀さん
は「楽しい絵
と歌がいつ
ぱい出てき
て紙芝居の
ような舞台
です。歌はビ



アノの生演奏を伴奏に歌います。見てよし、聞いてよしの立体読み聞かせ劇場となっております。音楽は秋京子さん(オペラシアターこんにやく座代表)が担当。お子様から大人まで、これまで演劇に馴染みのなかった人も、誰もが「お芝居ってこんなに面白いんだ」と楽しめる作品になっています。ところで、本公演は二本立て。『キニサクハナノナ』は、一転して心に染み入る話。人が「この世」を去って「あの世」へ渡る時を通る境目に、人の一生を記した「過去帳」を読む人がいます。そこで、戦争中お見合いをした二人が再び出逢います。出征のため縁談を断り、南の戦地に散った若い兵士は何十年もたって、木に咲いていた白い花の名前を伝えるに来たのです。いや「伝えたかった」という思いを女性に伝えます。胸にジーンとくるいいお話

です。
「こちらは俳優の動きを加えています。お年を召した方々にも味わい深い作品です。趣向の異なる二つの作品を幅広いお客様にお見せしたいのです」(志賀さん)。

「見どころたっぷりの二本立ては、お得感が高いですよ」とおっしゃるのは、元氣いっぱい舞台を盛り上げる俳優の西條(にしじょう)義将さん(モダンスイマーズ)。扉座(代表・横内謙介氏)の女優でせんがわ劇場出演は二回目となる伴美奈子さん、女優で声優もされている藤谷みきさん(第三舞台出身)、テレビなどでお馴染みの志賀廣太郎さん(青年団)も出演します。せんがわ劇場の新しいレパートリー作品誕生を、ぜひ応援してください。

出演者(キャスト)のみなさん



伴 美奈子



藤谷 みき



西條 義将



志賀 廣太郎

●公演日程(全5回公演)

6月14日(土) 19:30 開演……上演終了
6月15日(日) 14:00 開演……上演終了
6月24日(火) 14:00 開演……発売中
6月24日(火) 19:30 開演……発売中
7月1日(火) 19:30 開演……発売中

●チケット・全席指定

一般 : 2,000円
市民割引 : 1,800円 (調布市在住・在勤)
学生 : 1,500円
中学生以下 : 1,000円 (小学生以上入場可)

※各種割引あり。チケットの販売状況など、詳しくは、せんがわ劇場窓口へお問い合わせください。